

謹啓 早春の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

皆様におかれましては、日本赤十字社の海外救援金にご協力頂き、心より感謝申し上げます。このたび、私共が皆様からお預かりした貴重なご寄付を活用して取り組んだ海外救援活動(2019-2020)についての報告書を送付いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、災害や紛争による避難生活等により苦しんできた人々をさらに苦しめています。加えて、経済の停滞による貧困の拡大や、いつ終わるとも知れない脅威による社会不安の増大は、新たな人道危機を招きかねません。また、コロナ禍においての災害・紛争の対応では、これまではあまり考える必要が無かった「感染対策」が求められ、被災者は多くの困難の中、不自由な環境に耐え続けています。

私たちは、このような時だからこそ、複合的な影響を受けながらも支援の手がなかなか行き届いていない人々に対して、切れ目なく支援を継続していきたいと考えております。コロナ禍の今、日本でも不安な日々が続くところではありますが、世界で様々な影響を受け苦しんでいる人々の支援のため、引き続き、皆様のご関心をお寄せいただくと幸いです。

末筆ではございますが、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

謹白

令和3年2月

日本赤十字社

本状と行き違いでご寄付をいただいております場合は、度重なるご連絡となってしまいましたこと、何卒ご容赦下さいますようお願い申し上げます。